取扱説明書

ＡＤＬキッチン

ＳＡＤ－１００Ｌ/Ｒ

ＳＡＤ－１２０Ｌ

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
  正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
- 「取扱説明書」は
  ・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
  ・１部を保存用として、大切に保管してください。

SAKAImed

06-027⑤L1

もくじ

安全上のご注意 …… 3

各部の名称 …… 6

ご使用になる前に …… 8
- 電源 …… 8

操作方法 …… 9
- 流し台の昇降 …… 9
- 棚の昇降 …… 10
- コンセント …… 11
- 蛍光灯 …… 11
- クッキングヒーター …… 12
- レンジフード …… 13
- シングルレバー混合水栓 …… 13
- 引き出し …… 14
- 測定用スケール …… 14

お手入れの仕方 …… 15

このようなときには …… 15

機器の保守・点検について …… 16

保証とアフターサービス …… 17

仕 様 …… 18

用途

本装置は、ADL トレーニングにおける調理動作トレーニングのためのもので、使用者自身での調理作業や介助者がついたときの調理作業を身につけることを目的として、種々の条件を再現するために、流し台や棚の高さを調整及び測定できるようにした高さ調節式キッチンユニットです。

特長

● 省スペースのコンパクトタイプ ADL キッチン。

ストレートタイプの SAD-100 はシンク位置を右側に配置した勝手反対型も用意。

コーナータイプの SAD-120 はコーナー部の形状を斜めにし、車椅子での調理練習時の動線を最小にしました。

● 操作性の向上を図りました。

シンクの深さを 12 ㎝と浅くして、流し台下面の構造物をできるだけ取り除き、車椅子でのトレーニング時のニースペースを確保しました。

高さ調節機構は電動式のためスムーズな昇降、停止が可能です。

トレーニングの目安として利用できるよう、流し台高さと吊り棚下面高さのスケールを設けました。

● 安全性の向上を図りました。

流し台下側にテープスイッチを設け、流し台下降時の挟み込みを防止。

調理機器は電気式クッキングヒーターを採用、吹き消えや不完全燃焼がなく空気も汚れません。

● 衛生度の向上を図りました。

スイッチ部には抗菌シートを、化粧板の一部に抗菌性化粧板を採用。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

電源・その他

⚠警告

サービスマン以外は、電源の接続を行わない
正しく接続しないと故障や事故の原因になります。

サービスマン以外は、給湯水の接続を行わない
正しく接続しないと水もれ等の故障や事故の原因になります。

コンセントは 1500W以上の器具を使用しない
器具の故障及び感電の恐れがあります。

⚠注意

電源は指定範囲内で使用する
・クッキングヒーター用は AC200Ｖ±5%
・その他のコンセント電圧は AC100V±5%
範囲外の場合には機器の故障及び誤動作の原因になります。

使用後は、必ず本体の電源を切る
電化製品は、必ず電源プラグを抜いてください。事故を防止します。

流し台・棚 の昇降

⚠ 注意

使用者が流し台を使用中には、絶対に操作しない
特に、クッキングヒーターを使用しているときは、絶対に操作しないでください。思わぬ事故につながります。

流し台に高さ 24 cm以上の物を置かない
流し台を上昇させたときや棚を下降させたときに棚の下面に挟み込まれる恐れがあります。

流し台や棚を昇降させるときには、いつでも停止できるようにする
挟み込み等がないように注意してください。

流し台を下降させるときは、昇降枠に注意
足等が挟み込まれる恐れがあります。

流し台には、50kg 以上の力を掛けない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

棚には合計で 30kg 以上の物を入れない
故障の原因や事故につながる恐れがあります。

棚の上には物を置かない
落下の恐れがあります。

棚の中には安定した物を収納する
不安定な物は落下の恐れがあります。

昇降の切り換えは、必ず動作の停止を確認してから行う
動作中に行うと機械の故障及び誤作動の原因となります。

給湯水栓

⚠ 注意

本体の給湯水栓の引き出し口に直接水をかけない
水が流し台内部に侵入して故障する恐れがあります。

付属のシングルレバー混合水栓の「ご愛用のしおり」をよく読む
各注意事項をお守りください。

レバーハンドルはゆっくり動かす
急に操作すると音が出たり、吐出温度が急に変わります。

熱湯を吐出させたときの給湯部に注意
高温になっていますので、やけどに十分注意してください。熱湯の吐出後は、安全のためしばらく水を流して冷やしてください。

クッキングヒーター・レンジフード

⚠ 警告

クッキングヒーターでの揚げ物調理について
調理の途中ではその場を離れないでください。途中でその場を離れるときや調理後は必ず熱量調節つまみを「切」にし、なべをヒーターから降ろしてください。

やけどに注意
使用中や使用直後はヒーター及びその近くの金属部が熱くなっていますので、やけどには十分ご注意ください。使用中、ヒーター自体は赤熱しませんが、高温になっていますのでやけどには、十分ご注意ください。

⚠ 注意

調理以外の用途に使用しない
また、魚焼や醤油、汁などがたれ落ちるものは、絶対に直焼しないでください。

使用後は電源を切る
熱量調節つまみが「切」になっていることを確かめてください。また、長時間使用しないときは、さらに専用回路の漏電ブレーカーを切ってください。

クッキングヒーターは周囲の状況に十分注意して使用する
やけどや事故の恐れがあります。

器具内部へ水が入らないように注意
感電や故障の原因になります。

付属の「クッキングヒーター取扱説明書」をよく読む
各注意事項をお守りください。

クッキングヒーターを使用中はレンジフードを運転させる
クッキングヒーターを長時間空焚きするとレンジフード本体が熱を受け故障の原因となります。

誤って油に火がついたら、レンジフードの運転を止めて消火する
ファンが回転していると火の勢いがよけいに強くなり危険です。

レンジフード用の空気取入口を設ける
気密性の高い建物の場合、壁に空気取入口を設けるか、扉を少し開けてください。

付属の「レンジフード取扱説明書」をよく読む
各注意事項をお守りください。

使用上の注意

⚠ 注意

熱い鍋等を流し台に直接置かない
変形する恐れがあります。鍋敷き等をご使用ください。

流し台の上で包丁等の鋭利なものを直接使用しない
また、鉄鍋等の重いものでこすらないでください。きずが付く恐れがあります。

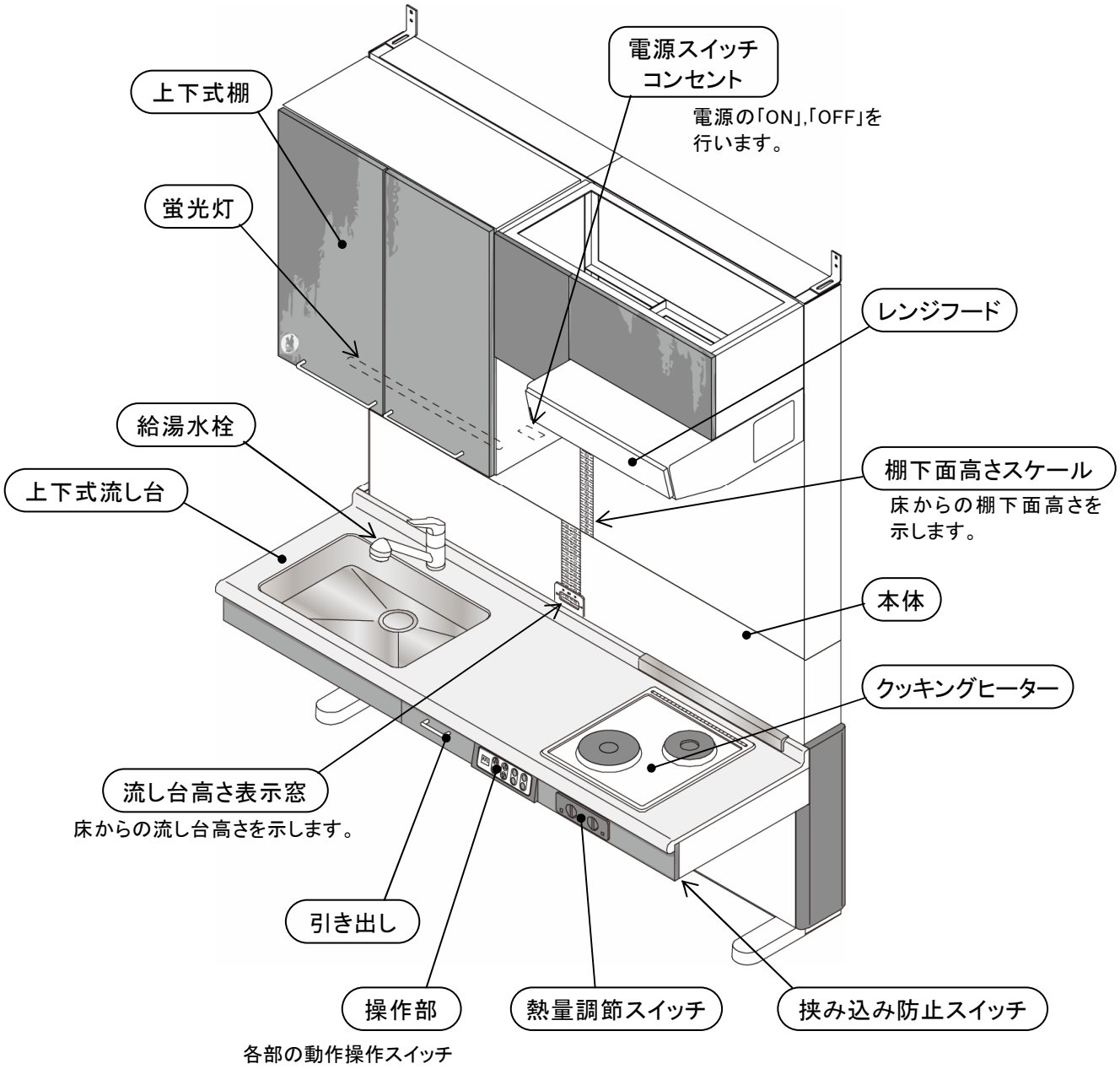
引き出しの上に重みをかけたり、乗ったりしない
破損する場合があります。

使用後の熱い油や熱湯を排水口に流さない
部品が変形する恐れがあります。

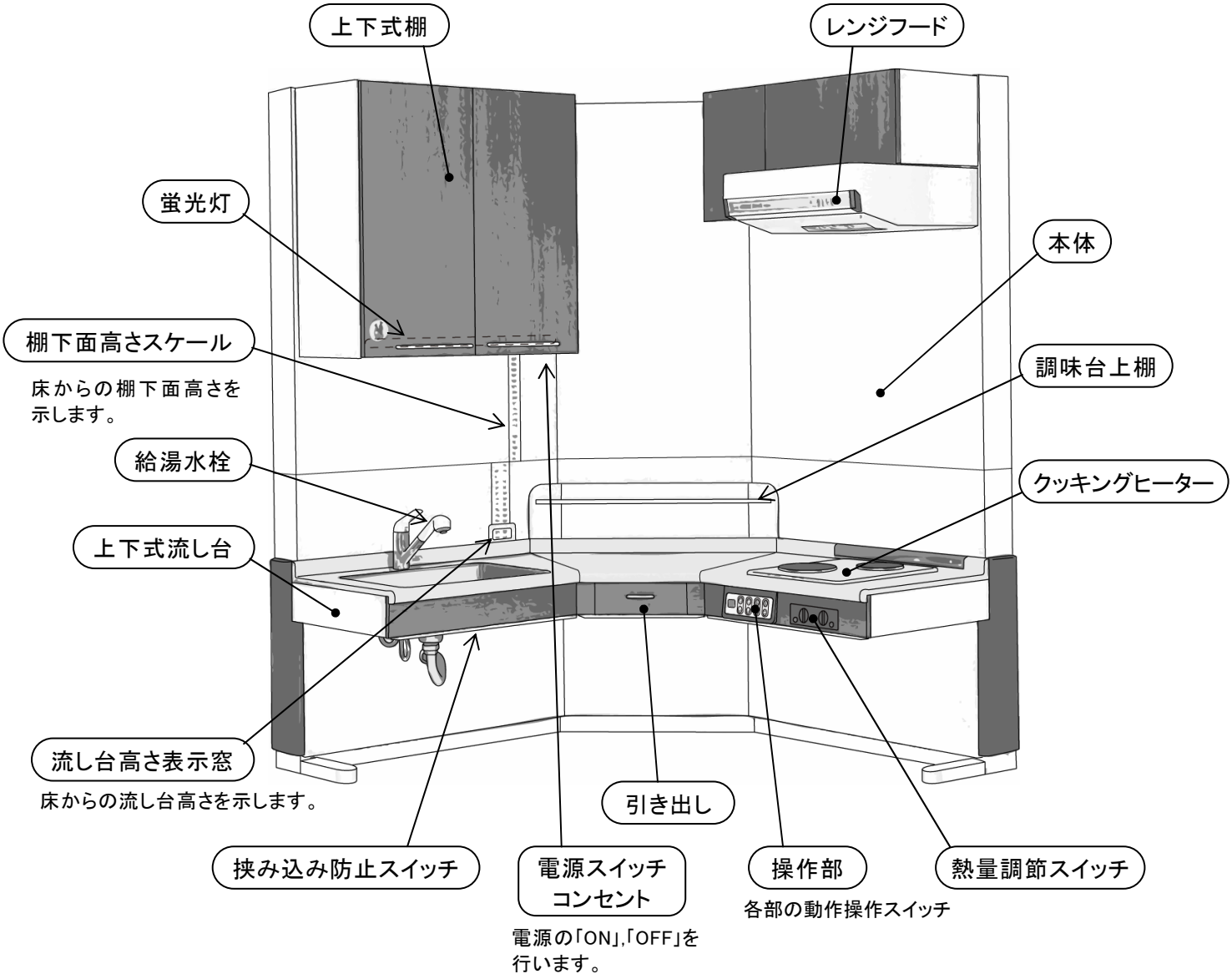
各部の名称

SAD-100L(ストレートタイプ)

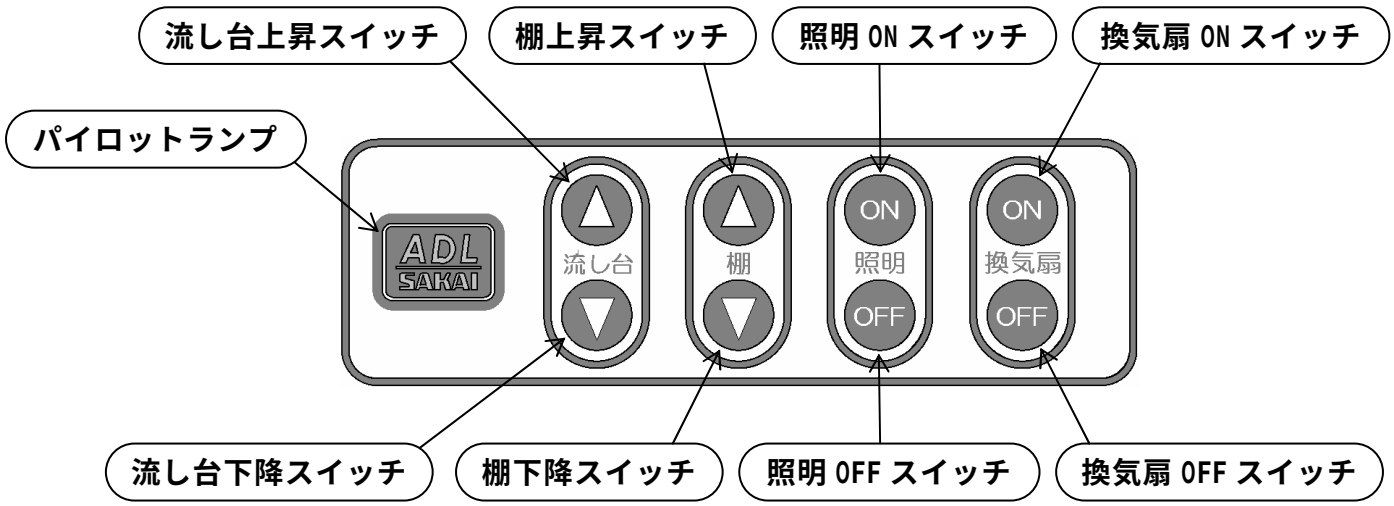
図は左側タイプです。右側タイプ SAD-100R は勝手反対になります。



SAD-120L(コーナータイプ)



✸ 操作部



ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.16 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

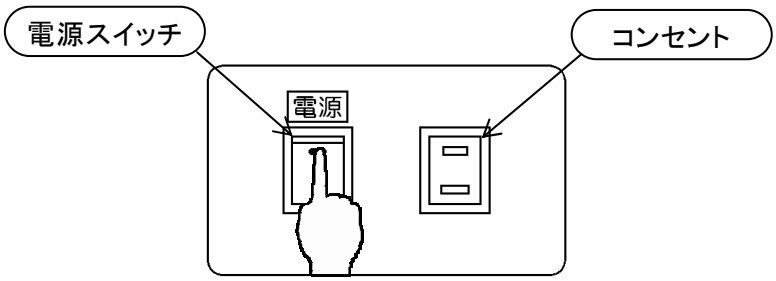
破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

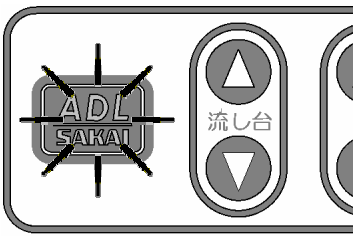
電源

本製品は、設置時に電源は接続されています。使用前に必ず電源のブレーカーが切れていないか点検してください。

電源には、必ず漏電遮断機を接続してください。

上下式棚の下面にある電源スイッチを「ON」にすると、操作部のパイロットランプ(緑)が点灯します。





操作方法

流し台の昇降

流し台の昇降は、操作部の流し台昇降スイッチで行います。

上昇･･･流し台上昇スイッチ△を押します。上限（床より流し台上面まで 90 ㎝）で自動的に停止します。但し、棚との間隔が 26 ㎝になると自動的に停止します。

下降･･･流し台下降スイッチ▽を押します。下限（同 65 ㎝）で自動的に停止します。

停止…昇降中にスイッチから手を離すと中間で停止します。

⚠ 注意

- **使用者が流し台を使用中には、絶対に昇降を操作しない**
  思わぬ事故につながります。
- **下降させるときは、昇降枠に注意**
  足等が挟み込まれる恐れがあります。
- **昇降の切り換えは、必ず動作の停止を確認してから行う**
- **流し台に高さ 24 ㎝以上の物を置かない**
- **流し台には、50kg 以上の力を掛けない**
- **流し台を昇降させるときには、いつでも停止できるようにする**
  挟み込み等がないように注意してください。

棚の昇降

棚の昇降は、操作部の棚昇降スイッチで行います。棚には食器類を収納することができます。

上昇･･･棚上昇スイッチ △ を押します。上限（床より棚下面まで 139.5 ㎝）で自動的に停止します。

下降･･･棚下降スイッチ ▽ を押します。下限(同 100 ㎝)で自動的に停止します。但し、流し台との間隔が 26 ㎝になると自動的に停止します。

停止…昇降中にスイッチから手を離すと中間で停止します。

⚠ 注意 ・使用者が流し台を使用中には、絶対に昇降を操作しない

思わぬ事故につながります。

・昇降の切り換えは、必ず動作の停止を確認してから行う

・棚の中には、安定した物を収納する

・棚の上には物を置かない

・棚の下の流し台に高さ 24 ㎝以上の物を置かない

・棚には、合計で 30kg 以上の物を入れない

・棚を昇降させるときには、いつでも停止できるようにする

挟み込み等がないように注意してください。

コンセント

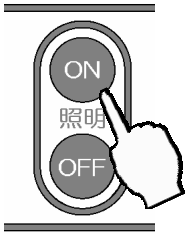
上下式棚の下面にある電源スイッチ横の AC100V コンセントは、実際に使用することができます。

棚の下面と流し台下のコンセントで合計 1500W までの機器が接続できます。

ご注意 コンセントの電源は、本体の電源スイッチと連動していますので、使用時は電源スイッチを入れてください。

蛍光灯

流し台正面にある操作部の照明スイッチで操作します。



ご注意 蛍光燈の電源は、本体の電源スイッチと連動していますので、使用時は電源スイッチを入れてください。

蛍光灯の交換は蛍光灯スイッチを切ってから、蛍光灯のサイズをお確かめの上交換してください。

⚠注意　取り扱い注意

濡れた手やスイッチを入れたままで交換しないでください。感電の恐れがあります。

クッキングヒーター

クッキングヒーターは、実際に使用することができます。ご使用になる前に必ず付属の「クッキングヒーター取扱説明書」をお読みください。

⚠警告　・揚げ物調理について

調理の途中でその場を離れるときや調理後は必ず熱量調節つまみを「切」にし、鍋をヒーターから降ろしてください。

・やけどに注意

使用中や使用直後はヒーター及びその近くの金属部が熱くなっていますので、やけどには十分ご注意ください。

使用中、ヒーター自体は赤熱しませんが、高温になっていますのでやけどには、十分ご注意ください。

・本体に水をかけない

故障や感電の原因になります。

⚠注意　・使用中の注意

調理以外の用途に使用しないでください。

・使用後は電源を切る

使用後は、熱量調節つまみが「切」になっていることを確かめてください。

また、長時間使用しないときは、専用回路の漏電ブレーカーを切ってください。

・クッキングヒーターは、周囲の状況に充分注意して使用する

やけどや事故の恐れがあります。

ご注意　クッキングヒーターを初めてご使用の際、煙･においが出ますが異常ではありません。

ヒーター表面や裏面に塗布されている錆止め塗料から出るものです。ヒーターに鍋を置かないで火力を「強」にし 5 分間を限度に通電して焼きつかせてください。次回のご使用から煙・においはなくなります。

レンジフード

レンジフード本体には「切」「弱」「強」「照明」スイッチがあります。

フード本体のスイッチが入っていることを確認後、流し台正面にある操作部の換気扇スイッチのON を押してください。

レンジフードを止めるときは、操作部の換気扇スイッチのOFF を押します。

注意
- **クッキングヒーターを使用中はレンジフードを運転させる**
- **レンジフード用の空気取入口を設ける**
- **誤って油に火がついたら、レンジフードの運転を止めて消火する**
  ファンが回転していると火の勢いがよけいに強くなり危険です。
- **付属の「レンジフードの取扱説明書」をよく読む**
  各注意事項をお守りください。

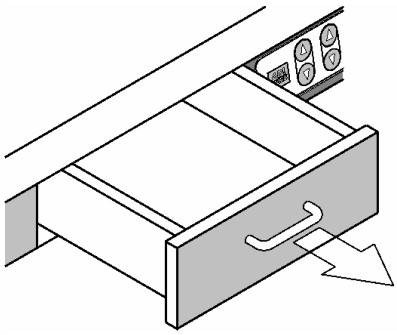
シングルレバー混合水栓

レバーハンドルひとつで吐出量と温度を簡単に調節できます。給湯水栓は引き出して使用でき、皿洗いやシンク洗いのときに便利です。

注意
- **レバーハンドルはゆっくり動かす**
- **熱湯を吐出させたときの給湯部に注意**
  高温になっていますので、やけどに十分注意してください。
- **本体の給湯水栓の引き出し口に直接水をかけない**
- **付属のシングルレバー混合水栓の「ご愛用のしおり」をよく読む**
  各注意事項をお守りください。

引き出し

流し台正面の中央には引き出しがあります。調理用具入れなどにご利用ください。

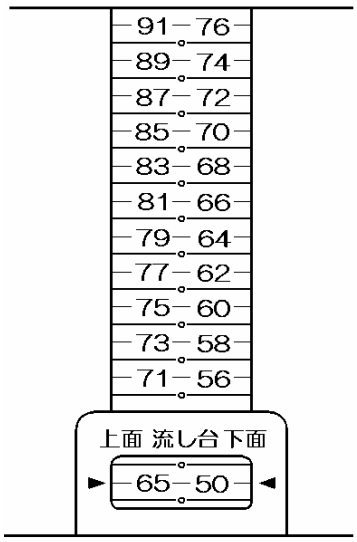


⚠注意　引き出しの上に重みをかけたり、乗ったりしない

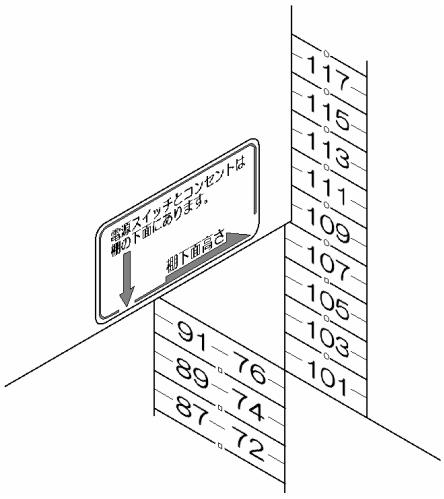
破損する場合があります。

測定用スケール

評価測定のために流し台上面、下面寸法と棚下面寸法が一目で測定できるようになっています。目盛りは、1㎝単位で数字は2㎝毎に表示してあります。



流し台高さ表示窓



棚下面高さ表示

お手入れの仕方

- シンク等のステンレス部は、スポンジに中性洗剤を含ませ汚れをおとし、水で十分に洗い流した後、水滴を拭き取ってください。
- クッキングヒーター周囲は、はじめに電源を切り、器具が冷えているのを確認後、台所洗剤を含ませた布で拭き取ってください。こびりついた油汚れは、アルカリ性泡状剤などを使用しその後しぼったふきんで水拭きしてください。
- 排水口は、月に１回程度パイプクリーナーを使用し、洗い流してください。
- レンジフードは、非常に汚れやすいので早めに掃除してください。（掃除方法は、付属の「レンジフードの取扱説明書」を参照してください）
- 棚などの木製部は、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布を浸し硬く絞り、拭いた後に水拭きをしてください。
- 操作部は、柔らかい布で空拭きしてえください。

このようなときには

症　状	原　因	対　策
スイッチを操作しても流し台・棚が動かない。	電源が入っていない	電源を入れてください。
	電気回路のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
レンジフードが動かない。	フード側または、操作部のスイッチが OFF になっている。	スイッチを ON にしてください。
	レンジフード本体の故障。	最寄りの営業所にご連絡ください。
昇降中に変な音がする。	駆動装置のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。

・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに使用を中止してください。

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	本体及びクッキングヒーターの周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	給湯水栓からの水(湯)の漏れ	目視
機能	電源ランプの点灯	目視
	流し台および棚の昇降	スムーズに昇降するか、異音がないか確認
	クッキングヒーターの作動	お湯を沸かすなどをして正しく作動するか確認
	レンジフードの作動	異音がないか、正しく作動するか確認

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*SAD-100(L/R), 120L*
  お買い上げ年月：　　年　　月
  故障状況(できるだけ詳細に)
  住所，氏名，電話番号
- メーカーより指示のあるとき以外は、決してあけたり分解したりしないでください。

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 消耗品（使用により、量などが減少していくもの）

蛍光灯

交換は、お客様により実施願います。

✹ 損耗品（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  排水ホース / 給湯・給水ホース / 止水栓パッキン

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

型　式		SAD-100L,100R	SAD-120L
外形寸法		1904(L)×774(W)×2303(H)㎜	1802(L)×1802(W)×2303(H)㎜
質　量		約 260 kg	約 650 kg
電　源		単相 200Ｖ 50/60 Hz 20Ａ 単相 100Ｖ 50/60 Hz 15Ａ	単相 200Ｖ 50/60 Hz 20Ａ 単相 100Ｖ 50/60 Hz 15Ａ
電源入力		200V：3500VA 100V：500VA	200V：3500VA 100V：500VA
駆動方式		電動・チェーン方式	電動・チェーン方式
材質	本体フレーム	スチール製	スチール製
	シンク・カバー	ステンレス製	ステンレス製
	棚・流し台枠	化粧板製	化粧板製
付帯機器		レンジフード クッキングヒーター	レンジフード クッキングヒーター

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合が有ります。